

通学児童生徒の安全確保に関する調査特別委員会 危険な小学校通学路の対策未定箇所を全て解消

本委員会(小川一成委員長)は、通学児童生徒などを事故や事件の被害から守り、暮らしの中の安全と安心を一層高めるための諸方策について調査・検討を行うため、全国的にも例のない、通学路と通学児童生徒の安全対策に特化した委員会として、平成二十五年第一回定例会で設置されました。

五月の第一回委員会以降、九回の委員会を開催し、現地調査や参考人からの意見聴取の他、国に対し意見書の発議を決定するなど、精力的に活動してきました。

委員会での審議と平行して、「できるものからすぐにやる」との方針の下、全庁を挙げて早急な対応が行なわれた結果、小学校の通学路において対策が必要とされた危険箇所のうち、対策内容が未定であった箇所は、年内に全て解消されました。

これは画期的なことですが、しかし、対策の実施はこれからであり、多くの交通危険箇所が残されているため、一日も早く、児童生徒が安心して通学できるようにすることが必要です。

また、このことは、障害者や高齢者など、地域の生活者の安全確保につながるものであり、安全・安心な生活環境を整えるという、まさに行政の最優先課題であります。

そのため、これらを通じて、茨城県に住みたいと思われるような、全国に誇る安全な県とするため、「スピード感をもって、できることは全てやる」を基本に、関係機関などの連携により実施した緊急合同点検の対策必要箇所について、おおむね三年以内を目途に全ての対策が完了するよう求めています。

さらに、今後の対応についても、「安全な道路環境整備のあり方」、「安全教育のあり方」など四つの項目にわけて多岐にわたる提言をまとめ、定例会最終日に調査結果の報告を行いました。

(報告書全文はホームページでご覧になれます。)

決算特別委員会

決算特別委員会(小田木真代委員長)は、平成二十五年第二回定例会で設置され、第三回定例会で付託された平成二十四年度決算の認定議案などについて、部局ごとの部門別審査と全部局を対象とした総括審査を実施するため、計七回の委員会を開催しました。

部門別審査は、監査委員の決算審査意見を参考に、部長などから詳細に説明を聴取し、予算が議会の議決の趣旨にのっとり適正かつ効果的に執行されたかという視点を基本に行いました。

さらに、「東日本大震災からの復興・復興、風評被害の払しょく」について重点的に審査を行いました。

質疑では、いばきTVを活用した地域情報の発信、漁港などの震災復旧工事の実施状況、道路照明灯のLED導入の推進などについて活発な質疑応答が交わられました。

審査の結果、予算の執行及び決算は、その内容を適正なものと認め、原案を認定及び可決すべきものと決定しました。

常任委員会提言(要旨)

各常任委員会は、定めたテーマについて、一年間の委員会の調査活動を踏まえ、取り組むべき政策を執行部に提言しました。

総務企画委員会

テーマ「訪れたい、住んでみたい、住み続けたいと思える地域づくり」

- 地域の持つ特性や資源を活かした魅力ある地域づくり
- 広域交通ネットワークを活かした誘客や交流人口の拡大
- 本県のイメージアップのための効果的な情報発信 など

防災環境商工委員会

テーマ「地域活動団体等との連携・協働による地域づくり運動の促進」

- 互いに支え合う共助社会づくりの推進
- 地域で活動する多様な主体の交流促進によるネットワークづくり など

消費者や地域ニーズを捉えた新たな取り組みへの支援

- 地域商業を担う人材確保・育成 など

保健福祉委員会

テーマ「少子高齢化対策の推進」

- 高齢化対策の推進(健康づくり・生きがいづくりの推進、利用者本位の介護サービスの充実、地域包括ケア体制の推進)
- 少子化対策の推進(いばらき出会いサポートセンターの積極的な情報の発信及び利便性の向上、全県的な結婚支援の展開) など

農林水産委員会

テーマ「生産基盤の保全整備と農山漁村の活性化を通じた茨城県の農林水産業の振興」

- 農林水産業の生産基盤の保全整備
- 農林水産物の高付加価値化と多様な販路の開拓
- 地域資源を活かした農山漁村の活性化と都市との交流促進 など

土木企業委員会

テーマ「住みよい県土づくりに向けた社会資本整備のあり方」

- 道路、上下水道などの生活インフラの整備
- 災害に強い社会資本の整備、維持管理
- 建設業の健全な発展 など

文教警察委員会

テーマ「生きる力を育むための学校教育の充実」

- 基礎学力の向上と理数教育や国際教育の充実
- いじめ及び体罰問題への対応 など
- 「県民が期待するパトロール活動等の推進」
- 警察によるパトロール活動等の推進
- 防犯ボランティア団体との連携等 など

特別委員会などの新人事

予算特別委員会

予算特別委員会は、県の予算を総合的に検討し、予算審査の一体性を確保するために設置される委員会です。

- 委員長 山岡 恒夫
副委員長 伊沢 勝徳
委員 海野 透
白田 信夫
小川 一成
川津 隆
福地源一郎
横山 忠市
鈴木 亮寛
石田 進
館 静馬
村上 典男
萩原 勇
志賀 秀之
島田 幸三
鈴木 定幸
佐藤 光雄
青山 大人
江田 隆記
臼井平八郎
井手 義弘
大内久美子

情報委員会

情報委員会は、県議会情報公開条例に基づき、公文書の開示決定などに対する不服申立てや議会広報の充実についての調査などを行う委員会です。

- 委員長 荻津 和良
副委員長 石井 邦一
委員 横山 忠市
鈴木 亮寛
宮崎 勇
星田 弘司
外塚 潔
齋藤 英彰
川口 政弥
田村けい子

監査委員

県民代表の立場から適切な県予算の執行などについて、監査を行います。

- 磯崎久喜雄
森田 悦男

永年在職議員表彰

十二月二日に茨城県議会の永年在職議員表彰が行われました。表彰を受けた議員は次のとおりです。

- 二十年在職 田山 東湖 議員
十五年在職 臼井 平八郎 議員
十年在職 錦織 孝一 議員
福地 源一郎 議員
荻津 和良 議員
伊沢 勝徳 議員

議会運営委員会

議会運営委員会は、議会運営の円滑化を図るため、議会の運営に関する事項などについて協議するために設置される委員会です。

- 委員長 常井 洋治
副委員長 本澤 徹
委員 葉梨 衛
田山 東湖
藤島 正孝
西野 岳志
神達 光雄
佐藤 光雄
半村 登
高崎 進